


とっとり 土地改良だより



発行
みどり
水土里ネットとっとり
鳥取県土地改良事業団体連合会
〒680-0911 鳥取市千代水四丁目37番地
TEL (0857) 38-9500
FAX (0857) 38-9577
印刷所 日ノ丸印刷株式会社




美しく豊かなむらづくり大会2024「ハワイアロハホール」(湯梨浜町)

目

- 「美しく豊かなむらづくり大会2024」を開催 2
- 令和6年度 農業農村整備の集い及び要請活動 3~4
- とっとり水土里の女性会が現地研修及び情報交換会 4
- 第46回 全国土地改良大会 千葉大会 5
- 西部土地改良事業推進協議会が愛知県で視察研修 6
- 「農業・農村フォトコンテスト2024」審査会 7

次

- [シリーズ] みどり
- あつまれ、水土里のなかまたち 8
- 編集後記 8

「美しく豊かなむらづくり大会2024」を開催



宮崎雅夫 参議院議員

11月19日(火)に「ハワイアロハホール」(湯梨浜町)において、水土里ネットととりが『美しく豊かなむらづくり大会2024』を開催しました。

当日は、会員はもとより、多面的機能支払活動組織など約450人の参加がありました。

開会にあたり、松本会長から「今、正に農業農村を守るため、美しく豊かなむらづくりを推進するという気持ちを持って頂くと共に皆様方のご尽力をお願いしたい。」と挨拶がありました。

続いて、宮崎雅夫 参議院農林水産委員会委員長(参議院議員)、中国四国農政局 古賀徹 局次長、鳥取県 農林水産部 岡垣敏生 部長より来賓として祝辞を頂きました。次に、土地改良事業に長年の功績があった個人の方へ土地改良功労者表彰を行いました。

また、講演では、農事組合法人 川西 小林代表理事、岡本主任から「農事組合法人 川西 ～持続可能な経営体をめざして～」と題して、汎用化水田を生かした畑作物の生産拡大、需要の高い酒米・業務用米等への転換による水稲の収益拡大、スマート農業の取り組み等についてお話し頂きました。

続いて、「フランスの田舎から鳥取へ 三朝を愛する一人の話」と題して、三朝温泉観光協会 リエヴェンアントニー事務局長に講演頂きました。最初に、自己紹介、生まれ育った村・地域の話、日本に来たきっかけ等、次に、三朝温泉観光協会での仕事、将来の三朝町、そして自分自身についての話があり、「鳥取にいる限り、夢を持って三朝町の現状を打破し、自分自身も次のステップを考えていきたい。」と話されていました。

なお、大会閉会后に、とっとり水土里の女性会が環境保全活動で砂丘地に植付し、収穫したサツマイモを来場された方に配布しました。



リエヴェン アントニー事務局長の講演



土地改良功労者表彰 記念写真
(宮崎雅夫 議員同席)

第64回 土地改良功労者表彰 受賞者

氏名	職名	所属団体名	氏名	職名	所属団体名
大森 彰稔	(前)副理事長	岩美土地改良区	池口 稔	理事	淀江白浜土地改良区
澤 静男	理事	大原土地改良区	井上 修美	理事	米子市伯仙土地改良区
牧田 徹	副理事長	富海土地改良区	角本 洋一	監事	米川土地改良区
石原 弘	理事長	羽合土地改良区	角田 直史	理事	稲光井手土地改良区
横山 浩一	理事長職務代理	大栄町土地改良区	渡辺 輝幸	理事	中山町土地改良区
三浦 勝美	(前)監事	東伯町土地改良区			

令和6年度 農業農村整備の集い及び要請活動



二階 俊博 会長 挨拶

11月5日(火) 砂防会館別館「シェーンバッハ・サボー」(東京都)に全国の農業農村整備関係者1,195人が参集し、全国水土里ネット主催による「農業農村整備の集い」が開催されました。当日は、農林水産省から小里泰弘 農林水産大臣、武村展英 農林水産副大臣、鈴木憲和 農林水産副大臣、舞立昇治 農林水産大臣政務官ほか多数の出席がありました。また、政府与党からは、城内実 経済安全保障担当大臣、森山裕 自民党幹事長、進藤金日子 財務大臣政務官(全国水土里ネット会長会議顧問)、宮崎雅夫 全国水土里ネット会長会議顧問の出席がありました。最初に、全国水土里ネット

二階俊博 会長が主催者として挨拶し、続いて小里泰弘 農林水産大臣ほか、各来賓から祝辞がありました。その後、水土里ネット佐賀 田島健一 会長より以下の要請文が読み上げられ、全会一致で採択され、集い終了後に鳥取県選出の国会議員に対し、この要請書を提出しました。

1. 土地改良事業の計画的な推進のため、必要な予算を安定的に確保すること。
2. 食料・農業・農村基本法の改正を踏まえ、土地改良法や関連する支援制度の充実を図ること。
 - (1) 保全管理の明確化など土地改良法の目的・原則の拡充
 - (2) 施設の老朽化や突発事故の増加等が進む中で、国等の発意で行う事業の拡充などを含め、施設の更新整備を円滑に行うための環境整備
 - (3) 土地改良区の運営基盤の強化や、地域における農業水利施設の適切な保全管理に向け、土地改良区と市町村をはじめとした関係機関の連携等を促進する仕組みの創設
 - (4) 防災・減災対策や被災後の改良復旧を促進するための拡充
 - (5) スマート農業や需要に応じた生産に対応した基盤整備を推進する観点から情報通信基盤整備の位置付けの明確化やきめ細やかな営農ニーズに対応できる拡充
 - (6) 多面的機能支払や中山間地域等直接支払について、土地改良区等の多様な組織の参画を促進しつつ取組を強化するための拡充 等
3. 農業の競争力強化のため、農地の集積・集約化、米から高収益作物への転換、スマート農業の導入やほ場周りの管理の省力化を促す農地整備を推進すること。
4. 大規模災害からの復旧・復興や再度災害防止の取組を早急に進めること。あわせて、農村地域の国土強靱化のため、基幹から末端に至るまでの農業水利施設の更新・長寿命化や、豪雨・地震対策等を推進すること。
5. 自然的、社会的、経済的な情勢変化を踏まえ、高い公共性・公益性を有する土地改良施設の維持管理に対する支援を充実させること。
6. ICT、AI等を活用して、土地改良施設の管理の省力化・高度化等を図る取組を推進するとともに、中小規模の土地改良区を対象とした合併など、土地改良区の運営基盤強化に対する支援を推進すること。
7. 上記事項の推進に当たり、水土里ネットが有する技術、経験などを十分発揮できるよう配慮すること。

【要請活動】 令和6年11月5日(火)～令和6年11月6日(水)



石破 茂 内閣総理大臣 秘書



赤澤 亮正 経済再生担当大臣



青木 一彦 内閣官房副長官 秘書



舞立 昇治 農林水産大臣政務官
藤井 一博 参議院議員

とっとり水土里の女性会が現地研修及び情報交換会



集合写真

9月6日(金)に「とっとり水土里の女性会」が大山乳業協同組合において現地研修、東伯地区土地改良区連合で情報交換会を参加会員24名で実施しました。

現地研修では、牛乳の製造工程等、どのように私たちのもとへ届いているのかDVDを視聴し、その後、工場見学を行いました。

工場見学では、牛乳・ヨーグルトの製造ラインを見学し、学校給食限定の牛乳や大学生協限定の牛乳など見たことのない製品が製造されていて、殺菌方法による味わいの違い等を説明いただきながら見学を行いました。

次に、東伯地区土地改良区連合へ移動し、情報交換会を開催しました。普段の業務を通じて感じていることなど、会員同士ざっくばらんに情報交換し、今後の業務に参考となる有意義な時間と親睦を深めることが出来ました。

また、宮崎雅夫 参議院議員にお越しいただき、「基本法の改正と今後の土地改良」と題して講演いただき貴重なお話を聞くことが出来ました。



情報交換会の様子



宮崎雅夫議員による講演

第46回 全国土地改良大会 千葉大会



会場入口で記念撮影

第46回 全国土地改良大会「千葉大会」が10月22日(火)、幕張メッセで、『ふさの国から飛び立て水土里の恵み力強く未来に繋ごう水土里の礎』を大会テーマに掲げ、全国土地改良事業団体連合会・千葉県土地改良事業団体連合会主催により、4,000人を越える全国の土地改良関係者参加のもと盛大に開催され、本県からは19名が参加しました。

式典では、最初に千葉県土地改良事業団体連合会 森英介 会長が開会挨拶され、続いて、全国土地改良事業団体連合会 二階俊博 会長による主催者挨拶がありました。

続いて、熊谷俊人 千葉県知事、橋本直明 千葉市副市長が歓迎のことば、農林水産省 青山健治 農村振興局長が小里泰弘 農林水産大臣の代読、桜田義孝 衆議院議員、進藤金日子 参議院議員、宮崎雅夫 参議院議員が来賓として挨拶されました。

土地改良事業功績者表彰では、農林水産大臣表彰(6名)、農村振興局長表彰(16名)、全国土地改良事業団体連合会長表彰(41名)がそれぞれ表彰され、本県からは本会の前会長であります、榎本武利氏が農林水産大臣表彰を受賞されました。

基調講演では、「乗り越え、受け継ぐ土地改良」と題して農林水産省 青山健治 農村振興局長が講演、続いて「集落営農型基盤整備」として篠本新井土地改良区 伊橋秀和 理事長が優良事例紹介をされました。

最後に、次期開催県である佐賀県土地改良事業団体連合会 田島健一 会長へ大会旗が引き継がれ、閉会となりました。

現地研修として、大会当日の午前中に農水産物の加工や海外への輸出に必要な手続きを市場内で完結することができる日本初のワンストップ輸出拠点『成田市公設地方卸売市場』を見学、成田市 経済部 卸売市場 飛田主事から施設内の説明を受けました。

水産棟から始まり、加工エリアを見ながら青果棟に行きました。青果の卸売場には6社が入って販売もしており新鮮な青果を購入出来ました。

翌日の10月23日(水)は、『君津とまとガーデン』が運営する施設を見学、日本デルモントアグリ(株)とカズサの愛彩グループが出資する組織(平成31年4月竣工)で地域雇用にも貢献。4.4haのオランダ式太陽光利用型温室(特許技術)で、現在の従業員は70名。栽培は8月にスタートして最終の収穫が翌年の7月になるそうです。

また、今年度は気温の高い日が多く、受粉に大変苦労したそうです。



榎本武利 前会長
(農林水産大臣表彰)

西部土地改良事業推進協議会が愛知県で視察研修

西部土地改良事業推進協議会（会長 竹口大紀）が、11月14日（木）～15日（金）に愛知県において視察研修を行いました。この研修は、会員の行う土地改良事業の推進、調査研究を行う目的で22名が参加しました。

視察先は、愛知県豊田市水源町にある、水土里ネット明治用水の水源管理所を訪れました。同水源管理所の中根所長によると、「夏場には各分水バルブを全開にしておけば、各ほ場に給水栓が設置されているため、上水道のように蛇口を捻ったら水がでるような需要供給型の水管理としており、職員の水管理の労力は省力化となったが、ゴミの詰まりにより水がでないなどの対応をすることが多くなった。」とのことでした。

続いて、明治用水頭首工について農林水産省 明治用水頭首工復旧建設所の有福所長、田上工事第一課長、今井保全指導係長から説明を受けました。

現在の明治用水頭首工は三代目で昭和34年に運用開始して65年が経過しており、右岸側で農業用水と工業用水、左岸側で農業用水と水道用水を取水している大規模な施設であるが、令和4年5月に左岸側で大規模漏水事故が起き、取水量が減少し現在復旧工事中の施設です。

原因は地層、老朽化、設計の問題と様々あるが、水門の下に生じた水みちを通して水が抜ける「パイピング現象」が起こったためとみられ、農林水産省としては、このような事故が二度と起らないように、漏水のなかった右岸側でも遮水壁構築工事を追加で実施し、令和9年度に完全完了を目指すとのことでした。

質疑では、「最新技術を使っても漏水の予兆を発見できないものか。」「同じように頭首工に穴が開いているので参考にしたい。」などの意見も出され、有意義な研修となりました。

最後に本協議会田邊副会長より、「規模の大小はあるが、我々の施設も50年以上経過している施設もあり、参考になると思っている。また、頭首工の一日も早い復旧を目指して頑張ってもらいたい。」と締めくくり研修を終了しました。

両日ともに曇り空ではありましたが、雨が降ることなく、長距離移動でしたが無事に視察研修を終えることができました。



水源管理所前で記念撮影



研修の様子（水源管理所）

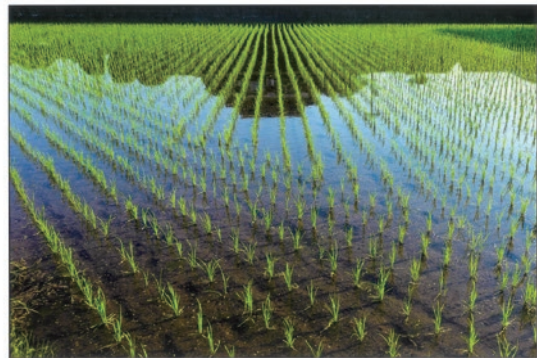
「農業・農村フォトコンテスト2024」審査会

10月24日(木)土地改良会館において「農業・農村フォトコンテスト2024」審査会を開催しました。本年度は、応募数141点(応募者数62名)があり、宮田敏幸(兵庫県西宮市)さんの「春を待つ農村」が特選に選ばれました。

本年度の入賞作品について、中山哲史 審査員長が「今回入賞した作品はどれも技術的にきちっと撮影されており、撮影のアイデアも面白い作品がそろった。子供が被写体になった写真など楽しい写真が入っているのがよかった。」と講評されました。



特選 「春を待つ農村」



審査委員特別賞 「清々しい早苗田」



準特選 「今年も豊作!豊作!」



準特選 「みんなで稲刈り」

各賞	作品の題名	氏名	住所
特選	春を待つ農村	宮田 敏幸	兵庫県西宮市
準特選	今年も豊作!豊作!	脇 聖子	鳥取市
準特選	みんなで稲刈り	田中 泰子	岩美町
山陰フジカラー賞	みんな大好き	澤口 典子	鳥取市
審査委員特別賞	清々しい早苗田	網濱 千景	鳥取市
農村地域活動部門賞	名産白ネギだ!	白井 寛	岡山県赤磐市
入選	紫陽花に埋もれて	村川 香織	米子市
入選	水鏡の中に	岩田 壮一	東京都武蔵野市
入選	風車の見えるそば畑	宇和田 美奈子	鳥取市
入選	春ひとりじめ	谷口 壮彦	鳥取市
入選	静かな夕	村川 節秀	米子市
入選	暑い夏	守谷 勉	岡山県倉敷市
入選	水田に浮かぶ	林原 絵梨花	大山町
入選	色とりどりのチューリップ	山根 大樹	米子市



愛と絆のある農業・農村をめざして
水と土を愛する
なかまたちを順次ご紹介

鳥取県 東部農林事務所 地域整備課 農林技師 山口 桃子



鳥取砂丘で友人と

先日、数年ぶりに鳥取砂丘に行きました。せっかくだったら昼と夜の砂丘両方行こうということで1日2回行ってきました。昼の鳥取砂丘は天気が良く青い空と砂丘のコントラストがとてもきれいでした。馬の背の東側でソリ滑りが可能という情報を仕入れたので、滑ってきました。馬の背の上まで上ると結構なスピードが出てとても楽しいのですが、急傾斜を何回も上るのがしんどく2回しか滑れませんでした。次回、体力をつけて再挑戦したいと思います。夜は星を見に行きましたが、月が明るく残念ながら綺麗には見えませんでした。夜の砂丘は、昼とは違い人が少ないため静かで、ひんやりした砂の上を歩くのが気持ちよく、時の流れをゆっくりと感ずることができました。今回は、星がきれいに見れなかったため、また天気がいい新月の日に星を見に行きたいと思っています。



馬の背に到着



友人と脱出ゲーム

また、社会人になってから友人とリアル脱出ゲームに参加したのをきっかけに、脱出ゲームが好きになりました。今まで8回ゲームに参加し3勝5敗で残念ながら負け越しです。リアル脱出ゲームは鳥取ではあまり開催されていないため、今は家でキットを使ったなぞ解きをたまにしています。

最後のなぞを解くまでに、大体3～6時間かかるため時間と気力が必要で、昼寝も交えながら楽しんでいます。最後の謎が解けた時はとても爽快なので、ぜひ時間がある方は、友人家族などを誘ってやってみてください。

今後、公私ともに色々な人と関わり、沢山のことを経験し成長していきたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。



編集後記

12月になり雪が心配になってきましたが、カメムシが多い年は雪が多いという言い伝えがあるのは皆様ご存じかと思います。私の今年のカメムシ話といえば、友人が私の家に泊まりに来ているときにカメムシが出没し、どちらが外に逃がすかで若干ケンカになったことを思い出しました😊(松村)